

総合工学委員会・機械工学委員会合同
工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会
安全におけるリスクアプローチ適用検討小委員会（25期 第3回）

議 事 要 旨

1. 日 時 令和3年8月5日（木）15:00～17:00
 2. 会 場 遠隔会議（主催会場：横浜国立大学野口教授室）
 3. 出席者 （敬称略）
【委員】 浅間 一、小野恭子 鎌田 実 柴山悦哉、渋谷忠弘、永井正夫
野口和彦、松岡 猛、向殿政男、山田常圭、中村昌允
 4. 議事次第
 - （1）前回議事録の確認（配布資料1）
 - （2）議事の進め方
野口委員長司会のもとで審議された。
なお、野口委員長が横国大学での緊急打ち合わせのため途中退席後は、
中村副委員長が司会を代行した。
 - （3）安全工学シンポジウムの総括（配布資料2）
7月2日（金）15:10～17:10
「工学システムの社会安全目標の新体系」の社会への実装化を図るために、
リスク評価への要求事項について、パネリスト間で議論を行った。
- 1) 司会者 野口和彦 NPO 法人リスク共生社会推進センター理事長
 - 2) パネリスト
浅間 一 東京大学大学院工学系研究科教授
小野 恭子 国立研究開発法人 産業技術総合研究所
鎌田 実 一般財団法人日本自動車研究所(JARI)代表理事・研究所長
柴山 悦哉 東京大学情報基盤センター教授
渋谷 忠弘 横浜国立大学 IAS リスク共生社会創造センターセンター長
飛嶋 順子 政策研究大学院大学 防災政策研究会 事務局長
中村 昌允 東京工業大学大学院環境・社会理工学院特任教授
 - 3) 問題共有のための講演
 - ① 社会安全目標におけるリスク指標の活用と本パネルの目的 野口和彦
 - ② リスクアプローチの有効性と必要性 浅間 一
 - ③ リスクアプローチの状況と課題例 中村昌允
 - 4) ディスカッション「リスクアプローチは、どこまで可能性に迫れるか？」
 - ① リスクの捉え方の課題と対応
 - ② リスク分析の課題と対応

③ リスク評価と受容の課題と対応

5) オンライン参加者 161名

(4) 今後の進め方 (配布資料3)

野口委員長より、資料3に基づいて、今後の進め方について説明後、各委員間で、活発な討議が行われた。

<主な討議事項>

① 安全目標や受容の判断

② 分野毎の対応の整理

③ 人材の育成

・リスクアセスメント人材

・リスクマネジメント人材

④ 今期の報告のイメージ

(5) その他

野口委員長より、上部委員会からのカーボンフリーについての検討依頼が紹介された。

(6) 次回委員会の予定

小委員会は、9月開催の予定

5. 配布資料

資料1 第2回小委員会議事録

資料2 安全工学シンポジウム 2021 パネルディスカッション報告

資料3 今後の論点案

以上